

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】令和4年3月7日(2022.3.7)

【公開番号】特開2020-165024(P2020-165024A)

【公開日】令和2年10月8日(2020.10.8)

【年通号数】公開・登録公報2020-041

【出願番号】特願2019-65856(P2019-65856)

【国際特許分類】

D 0 6 P 5/24(2006.01)

10

B 4 4 C 1/17(2006.01)

B 4 1 M 5/00(2006.01)

【F I】

D 0 6 P 5/24 Z

B 4 4 C 1/17 J

B 4 4 C 1/17 E

B 4 1 M 5/00 100

B 4 1 M 5/00 120

B 4 1 M 5/00 110

20

【手続補正書】

【提出日】令和4年2月25日(2022.2.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

フォトクロミック樹脂体の製造方法であって、

30

昇華性を有する昇華性フォトクロミック染料を基体に塗布することで、機能付加用基体を取得する第1工程と、

前記第1工程によって取得された前記機能付加用基体を樹脂体と対向させ、前記機能付加用基体を加熱することによって、前記機能付加用基体に塗布された前記昇華性フォトクロミック染料を昇華させ、前記昇華性フォトクロミック染料を前記樹脂体に付着させる第2工程と、

前記第2工程によって前記昇華性フォトクロミック染料が付着された前記樹脂体を加熱することによって、前記昇華性フォトクロミック染料を前記樹脂体に定着させる第3工程と、

、  
を有することを特徴とするフォトクロミック樹脂体の製造方法。

40

【請求項2】

請求項1のフォトクロミック樹脂体の製造方法において、

前記昇華性フォトクロミック染料は、スピロオキサジン系、ナフトピラン系、スピロピラン系と、フルギド系と、の少なくともいずれかの昇華性フォトクロミック染料であることを特徴とするフォトクロミック樹脂体の製造方法。

【請求項3】

請求項1又は2のフォトクロミック樹脂体の製造方法において、

前記第2工程は、前記第1工程によって取得された前記機能付加用基体を前記樹脂体と非接触に対向させ、前記機能付加用基体を加熱することによって、前記機能付加用基体に塗布された前記昇華性フォトクロミック染料を昇華させ、前記昇華性フォトクロミック染料

50

を前記樹脂体に付着させることを特徴とするフォトクロミック樹脂体の製造方法。

【請求項 4】

請求項 1～3 のいずれかのフォトクロミック樹脂体の製造方法において、

前記第1工程は、前記昇華性フォトクロミック染料を前記基体上に色濃度が変化するよう  
に塗布し、

前記第2工程は、前記機能付加用基体を加熱することにより前記機能付加用基体に塗布さ  
れた前記昇華性フォトクロミック染料を昇華させ、前記樹脂体に濃度勾配を有した状態に  
て前記昇華性フォトクロミック染料を付着させ、

前記第3工程は、前記第2工程によって、濃度勾配を有した状態にて前記昇華性フォトク  
ロミック染料が付着された前記樹脂体を加熱することによって、前記フォトクロミック染  
料を前記樹脂体に定着させ、前記樹脂体にフォトクロミック染料によるグラデーションデ  
ザインを形成させることを特徴とするフォトクロミック樹脂体の製造方法。 10

【請求項 5】

請求項 1～4 のいずれかのフォトクロミック樹脂体の製造方法において、

前記樹脂体はレンズであることを特徴とするフォトクロミック樹脂体の製造方法。

【請求項 6】

機能付加用基体を樹脂体と対向させ、機能付加用基体を加熱することによって、昇華性フ  
ォトクロミック染料を昇華させ、前記昇華性フォトクロミック染料を樹脂体に付着させる  
工程において使用される機能付加用基体の製造方法であって、

印刷装置のインクジェットヘッドから、前記昇華性フォトクロミック染料を含有する機能  
付加用インクを基体に向けて吐出することで、前記昇華性フォトクロミック染料を前記基  
体に印刷することで前記機能付加用基体を取得する第1工程を含むことを特徴とする機能  
付加用基体の製造方法。 20